

LeMaitre® Valvulotome

仕様

フープの最大直径 9.5 mm

ブレードの最大直径 6.0 mm

ブレードハウジングの外径 1.5 mm

保護シースの外径 1.0 mm

ブレードから安全マーカーまでの距離 2.3 cm

深度マーカー あり (10cm 刻み)

キャップから最初の深度マーカーまでの距離 (閉じた状態) 10cm

LeMaitre® 静脈弁カッター

オーダーインフォメーション

	製品番号	JANコード
LeMaitre 静脈弁カッター 1.5mm 98cm (ブレード径 1.5-6.0 mm)	1009-00	4571191913227
Lemaitre 静脈弁カッター 1.5mm 40cm (ブレード径 1.5-6.0 mm)	1010-00	4571191913234

この仕様は保障されたものではありません。製品の向上のために予告なしに変わることがございます。詳細は担当営業にご確認ください。



特定保険医療材料機能区分
血管内手術用カテーテル 静脈弁カッター 切開径変動型
販売名：レメイト 親水性コーティング 静脈弁カッター
医療機器承認番号：22700BZX00360000



LeMaitre is a registered trademark of LeMaitre Vascular, Inc. ©2022 LeMaitre Vascular, Inc.
All rights reserved. M0330 Rev. G 04/22 JP Rev. A 04/23

レメイト・バスキュラー合同会社
〒102-0082
東京都千代田区一番町16-1
共同ビル一番町1F

T +81 (0)3-5215-5681
F +81 (0)3-5215-5682

LeMaitre Vascular, Inc.
63 Second Avenue
Burlington, MA 01803
USA

T +1 781 221 2266
F +1 781 221 2223

LeMaitre Vascular GmbH
Otto-Volger-Str. 5a/b
65843 Sulzbach/Ts.
Germany

T +49 6196 659230
F +49 6196 527072

LeMaitre Pte. Ltd.
138 Robinson Road
#12-02 Oxley Tower
068906
Singapore

T +65 6813 0281

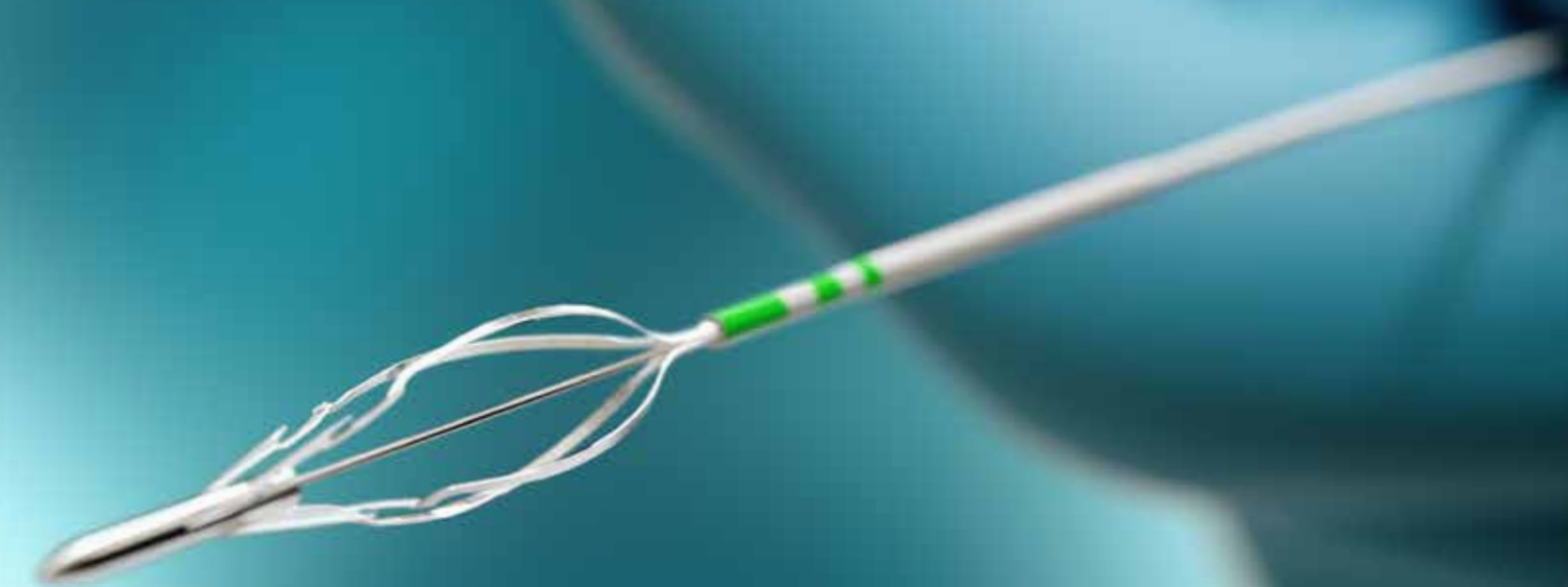


<https://lemaitre-japan.co.jp/>



LeMaitre® 静脈弁カッター

SMOOTH SAILING IN SMALL VESSELS



LeMaitre® Valvulotome

親水性コーティング1.5mm径LeMaitre 静脈弁カッター

親水性コーティングを施し、1.5mmの小口径にすることで、静脈への挿入を容易にし、内膜損傷の少ない、追従性を実現しました。

1.5mm-6.0mmの幅広いブレードレンジにより、小口径の静脈から大口径の静脈まで、最適な状態での静脈弁切除術を可能にしています。

このデバイスは静脈弁切除のための最適なセルフサイジング、セルフセンタリングフープにより、創傷壊死を低減させ、患者の早期回復を助ける製品です。

人間工学的ハンドル

より良いハンドリングのための人間工学的ハンドル。イリゲーションポートより生理食塩水の注入が可能です。



深度マーカー

静脈弁がカットされる際の分枝のおおよその位置を知ることが可能です。

3つのグリーンの安全マーカー

ブレードのおおよその位置がわかることで、最後の弁の切除が可能となりました。

親水性コーティング

デバイスの挿入を容易にし、静脈内膜損傷の可能性を最小限にした追従性を実現しました。

1.5-6.0mmの幅広いブレードレンジ

ブレードレンジが幅広いため、血管径に左右されることなく、常に最適な状態で静脈弁の切除が可能です。

1.5mmのブレードハウジング外径

1.5mm径は小口径の静脈の効果的な弁切除を提供します。

LeMaitre静脈弁カッターの使用方法

ステップ1 ブレードを収納した状態で弁カッターを、伏在静脈の処置領域（吻合部の遠位2.0から3.0cm程度）まで進めます。ブレード部分は切除目的の静脈弁を通過させた位置に停止させます。



ステップ2 弁カッターのブレードを開き、ゆっくりと伏在静脈内を引いてきます。セルフサイジング、セルフセンタリングフープにより、自動的に静脈内径に適合し最適な状態で弁を切開します。



STEP 3 3つあるグリーンの安全マーカーが、ブレードの位置の目安となります。伏在静脈の外に三番目の最後の安全マーカーが現れたらブレードを収納し、弁カッターを抜去してください。

